



夢・いっぱい

第11号

令和3年1月28日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

新しい年を迎えて

校長 原田 剛

2021年(令和3年)がスタートして一ヶ月が経過しようとしています。3学期の始業式では、丑年にちなんで、めあて・目標に向かって一歩一歩進んでいこうという話をしました。子どもたちは、それぞれの思いをもとにめあて・目標を立てたようです。その一部を紹介しましょう。

- ・1年生 じをきれいにかいて100てんをとりたい。
- ・2年生 じゅぎょうでまっすぐ手をあげて、わかりやすい声ではっぴょうする。
- ・3年生 けんかをせず、なかよく遊ぼう。
- ・4年生 言葉づかいをていねいにし、5mあいさつをしっかりとる。
- ・5年生 学校をきれいにするために、整理整頓をする。
- ・6年生 自分の苦手なことをなくす。そのために、苦手なことにも積極的に参加し、いずれは得意なことにする。

表現の仕方はそれぞれですが、発達段階によって自身のことから社会的なものへ、さらには、より高い目標に向かう姿勢がうかがえます。

「初心忘るべからず」と言われますが、新年の節目にあたっての「志」を私たち大人はしっかりサポートしていかなくてはならないと思います。子どもたちが次のステップに成長していくためにも、引き続きご支援をよろしく願いいたします。

新年書き初め大会

新年にあたり、3・5年生が書き初めを行いました。字の上達を願う年中行事ではありますが、「春の海」がBGMで流れる中、限られた枚数の条幅に真剣に向き合っている子どもたちの様子を見てみると、書き初めには気持ちを新たにする意味があるようにも思えました。



真剣に取り組む3年生



掲示された5年生の作品

川下中学校 岡田校長先生の出張授業

今年度も、中学校進学を控えた6年生を対象に、川下中学校の岡田校長先生による出張授業がありました。前半は、コミュニティ・スクールに関するプレゼンテーションをもとに、川下中学校の様子を教えてくださいました。特に、無言清掃やボランティア活動など、具体的な中学校生活をイメージすることができ、安心した子どもが多かったようです。また、後半は中学校の校歌を教えてください、川下中学校で大切にされている校歌への愛着が芽生え始めていました。



学校生活の様子を聞く6年生

ようこそ！園児さん

常照保育園と錦南保育園の年長さんが、1年生との交流のために来校しました。この日のために1年生は、けん玉やお手玉、長縄とび・転がしドッジボールなどの遊びを準備していました。本番では、まずは1年生がお手本を示し、誇らしげにしている姿が印象的でした。小学校という一回り大きな集団の中で、大きく成長した1年生を頼もしく思います。



すごろくを楽しむ1年生



手をとって「ぶんぶんごま」の遊び方を教える1年生

小中一貫教育の取組（公開授業）

小中一貫教育の取組の一環として、この度5年3組（竹内学級）で算数の公開授業が行われました。川下小・中からも先生が来られ、学習の様子を参観していただきました。提示されたグラフから懸命に情報を読み取ろうとする子どもたちからは、「さすが高学年」という雰囲気も伝わってきます。6年生での活躍が楽しみです。



真剣に授業に臨む5年生